

# 卵子提供・代理出産で家族をつくる

日時：2017年8月26日(土) 13:15-17:00

場所：キャンパスプラザ京都 第三会議室

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町 939

- 参加費無料
- 情報交換会(17:00-19:00)へのご参加は当事者の方のみです。
- 申し込み時にお名前とご連絡先をお知らせください(定員約 35 名)

13:15-14:15 「米国における卵子提供と代理出産」

*Molly E. O'Brien, Esq., Law Offices of Molly O'Brien*

14:15-15:15 「米国の代理出産－低コストで成功率を最大化する」

*Said Daneshmand MD., San Diego Fertility Center*

15:30-16:10 「代理出産の現在と卵子提供の真髄」

清水直子 *Shimizu Naoko* (さくらライフセイブアソシエイツ代表取締役)

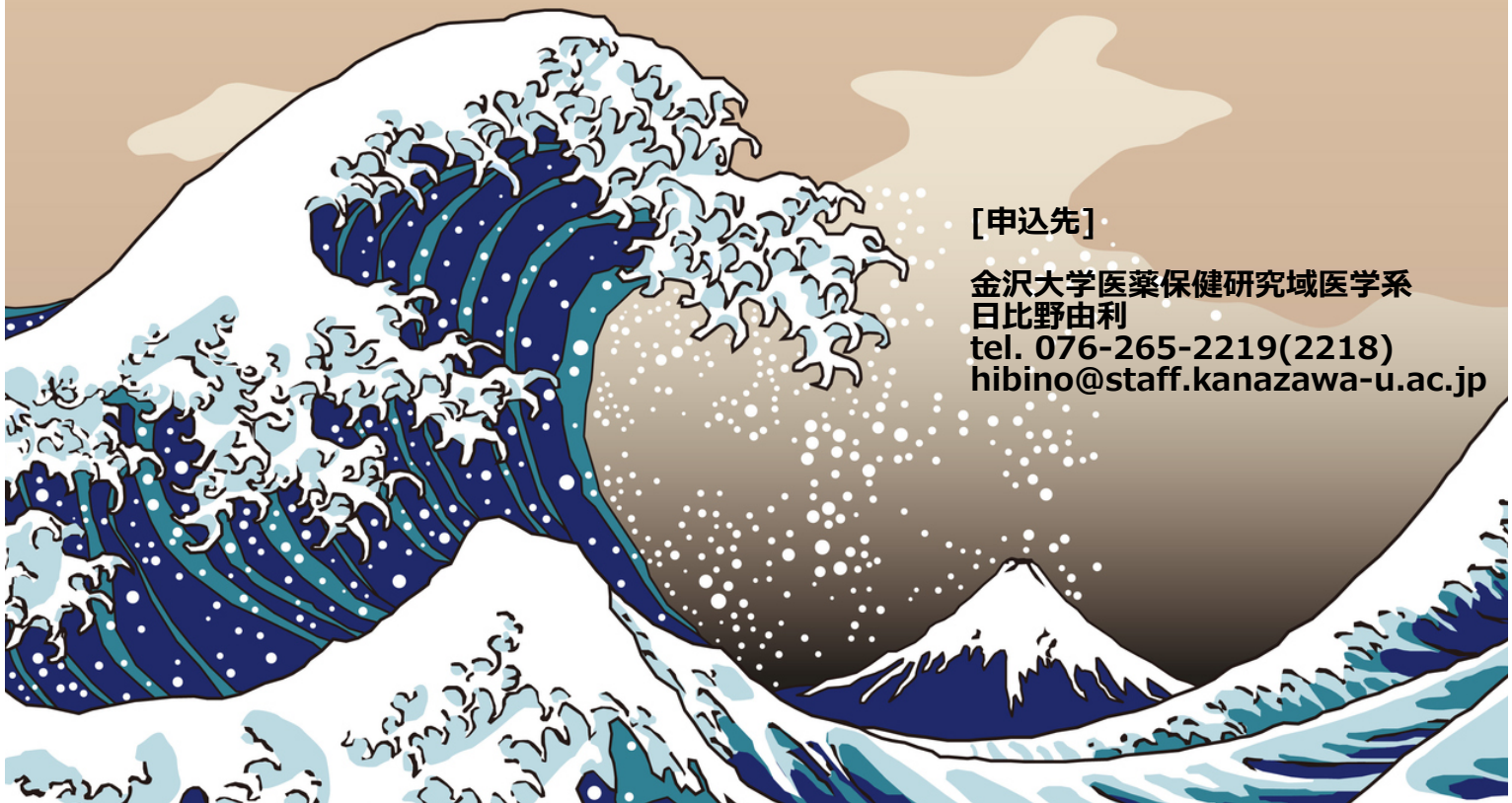
16:10-16:50 「子どものルーツをどのように伝えるのか」

日比野由利 *Hibino Yuri* (金沢大学医薬保健学総合研究科助教)

17:00-19:00 情報交換会

[申込先]

金沢大学医薬保健研究域医学系  
日比野由利  
tel. 076-265-2219(2218)  
hibino@staff.kanazawa-u.ac.jp





### Molly E. O'Brien, Fertility Lawyer.

2005年より生殖補助医療分野に関わっている。2011年に弁護士資格を取得し、法的側面から世界中の依頼者へのサポートを行っている。代理出産で生まれる子どもの訴訟後見人も務める。ASRM(米国生殖医学会)の法律部門の理事会メンバーである。論文に、An Intersection of Ethics and the Law: The Frozen Embryo Dilemma and the Chilling Choice Between Life and Death (2010)Whittier Law Review, 32, 171-196.がある。



### Dr. Said T. Daneshmand, MD, FACOG.

UCLA Medical Center で生殖医療の医師としてのトレーニングを積む。1999年より The Fertility Center of Las Vegas に着任、加齢の卵子への影響を研究し、卵子凍結技術におけるパイオニアの一人でもある。不妊分野で権威ある雑誌 Fertility and Sterility のレビューもつとめる。American Society for Reproductive Medicine(ASRM)、European Society of Human Reproduction and Embryology (ESHRE)のメンバー。



### 清水直子(Shimizu Naoko)

コロンビア大学、ニューヨーク大学で学び、MBA取得。2003年、ニューヨークでさくらセイブアソシエイツを設立。以来、癌、難病、臓器移植、生殖医療の分野で日米の架け橋となる医療コンサルティングを提供しつづけている。ニューヨークシティ・医療ビジネスリーダーとして、栄誉を授与された。ニューヨーク在住は21年以上。



### 日比野由利 (Hibino Yuri)

2010年から不妊ツーリズムや世界の代理出産について研究を始め、現在は、卵子提供や代理出産で家族となった人々のノーマライゼーションや子どもへのテリングについて関心を持つ。『ルボ生殖ビジネス 世界で「出産」はどう商品化されているか』(朝日選書)、Gestational Surrogacy in Japan. E.Scott Sills (ed).Handbook of Gestational Surrogacy(Cambridge UP)などを著した。

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939  
京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR各線「京都駅」下車。徒歩5分。

🗺️ お越しの際は、可能な限り「京都市バス」、「京都市営地下鉄」をご利用ください。

